

2018年度第3四半期決算

(2018/4~2018/12)

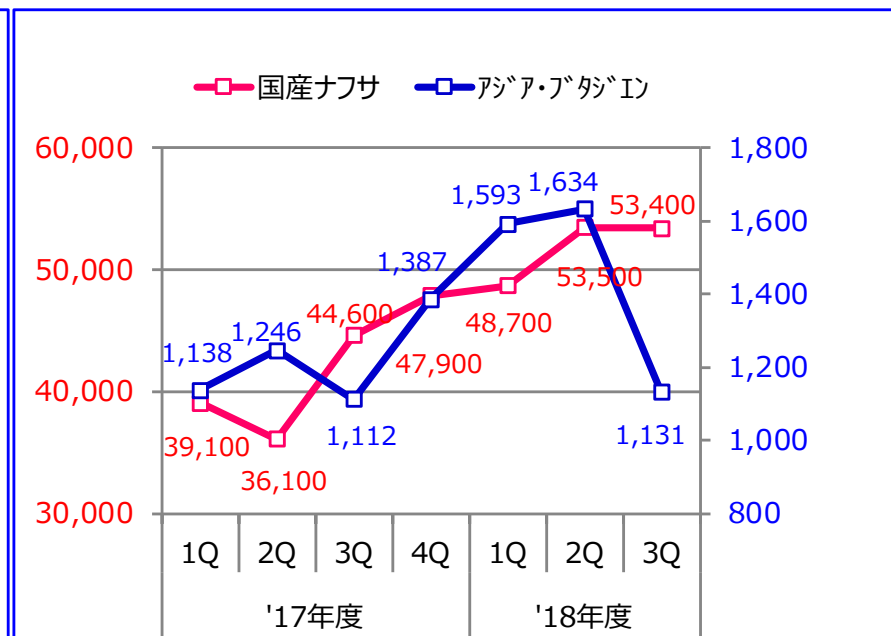
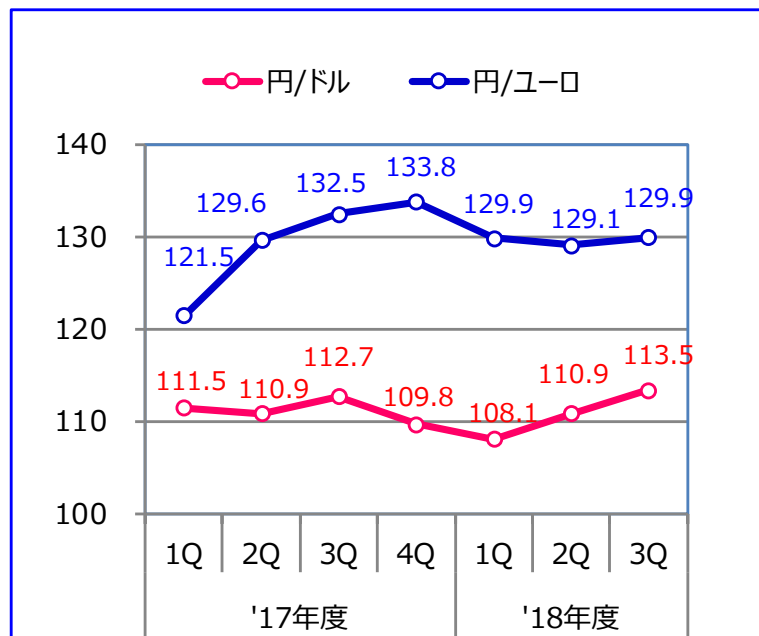
ZEON

日本ゼオン株式会社

2019年1月31日

- ◆ 事業環境
- ◆ 事業概況・トピックス
- ◆ 全体損益
- ◆ セグメント損益 エラストマー素材
- ◆ セグメント損益 高機能材料
- ◆ セグメント損益 その他
- ◆ 貸借対照表
- ◆ 2018年度業績予想

(通期平均)	2018 第3四半期	2017 第3四半期	増減	増減率
円/ドル	110.8	111.7	-0.9	-1 %
円/ユーロ	129.6	127.9	1.7	1 %
原油 (\$/bbl)	72	54	18	33 %
国産ナフサ (円/kl)	51,800	39,900	11,900	30 %
アジア・ブタジイン (\$/t)	1,453	1,161	292	25 %
イソレン (\$/t)	1,487	1,321	166	13 %
天然ゴム (\$/t)	1,331	1,502	-171	-11 %



事業概況

■ エラストマー素材

・ ゴム事業

国内販売は堅調に推移し、海外子会社も米国を中心に好調であったが、天然ゴムの市場価格低迷の影響から、輸出販売は前年同期を下回った。

・ ラテックス事業

国内樹脂改質用ラテックス・中国向けの販売等が一時低調。

・ 化成品事業

国内販売・輸出・海外子会社とも堅調に推移したが、原料価格上昇の影響を受け、営業利益は前年同期を下回った。

■ 高機能材料

・ 高機能ケミカル事業

化学品は順調、電池材料も順調に拡大が進んだ。

・ 高機能樹脂事業

COP樹脂は光学用途の販売が堅調に推移。

光学フィルムはテレビ向け、モバイル向けともに顧客の在庫調整影響を受けた。

トピックス

4月：川崎工場における特殊架橋タイプ水素化ニトリルゴムの乾燥能力増強を決定。
(2019年9月完工予定)

8月：タイにアクリルゴムの製造・販売を行う子会社を設立し、新工場建設を決定。

10月：富山県高岡市における光学フィルムの原反製造ライン生産能力増強を決定。
(2019年10月稼働開始予定)

10月：福井県敦賀市において光学フィルムの大型TV向け位相差フィルム製造ライン新規増設を決定。
(2020年4月量産開始予定)

1月：シンガポール子会社の固定資産(S-SBR製造設備)を減損(86億円)

	2018 第3四半期	2017 第3四半期	増減	増減率
売上高	2,545	2,510	35	1 %
営業利益	270	307	-37	-12 %
営業外収支	23	22	1	5 %
経常利益	293	329	-36	-11 %
特別収支	-90	-169	80	- %
税前利益	204	159	44	28 %
当期純利益	126	64	62	97 %

前年同期比

売上高： 35億円増収 営業利益： 37億円減益

◆エラストマー素材：増収・減益

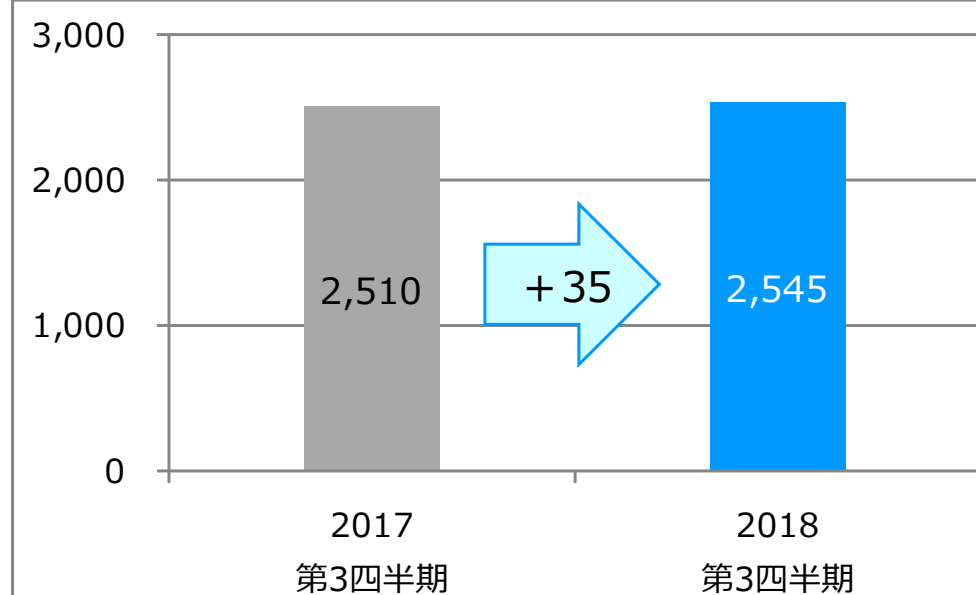
原料価格の上昇により増収するも、海外市況は反応遅れ。

◆高機能材料：減収・減益

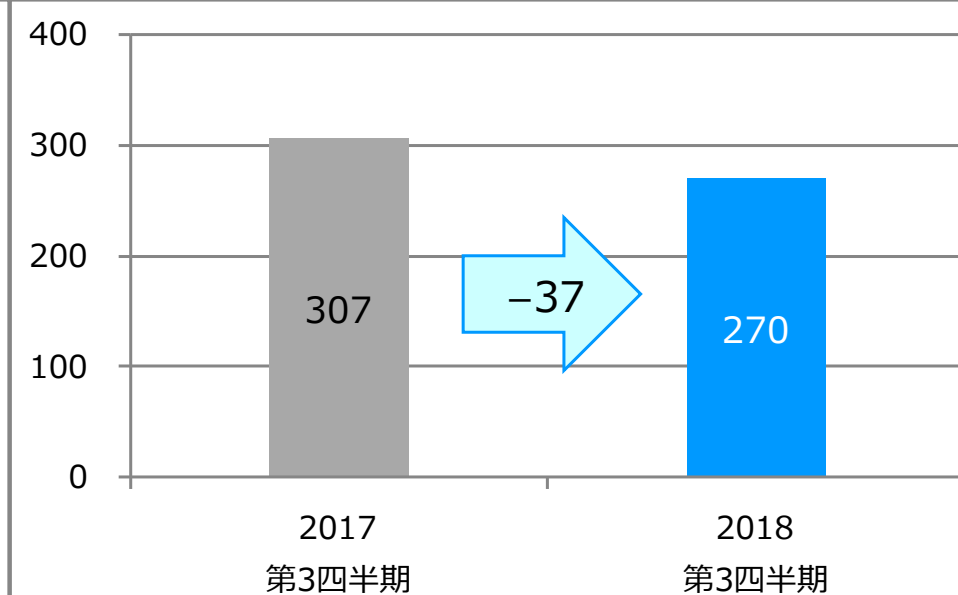
高機能ケミカルの売上高が堅調に推移。

高機能部材で顧客の在庫調整が影響。

売上高



営業利益



<売上高>

エラストマー素材	+ 32
高機能材料	- 15
その他・消去	+ 18

<営業利益>

エラストマー素材	- 22
高機能材料	- 4
その他	- 10

	2018 第3四半期	2017 第3四半期	増減	増減率
販売数量（千トン）	453	459	-7	-1 %
ゴム	256	267	-11	-4 %
ラテックス	91	97	-6	-6 %
化成品	106	95	11	11 %
売上高	1,492	1,460	32	2 %
ゴム	1,043	1,041	2	0 %
ラテックス	143	145	-2	-2 %
化成品	289	255	35	14 %
その他・消去	17	19	-2	-9 %
営業利益	144	166	-22	-13 %
営業利益率	9.7%	11.4%	-1.7 pt	

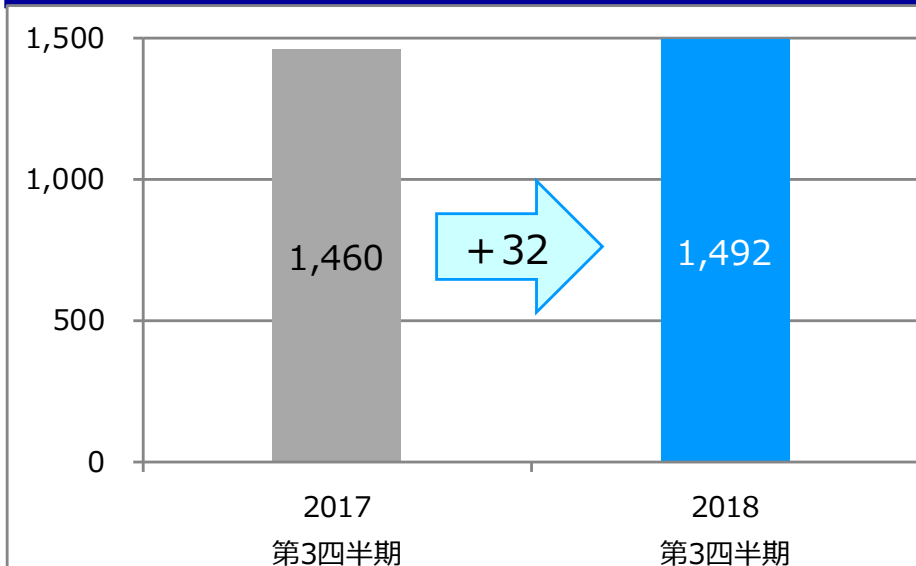
◆エラストマー素材：増収・減益

販売価格の上昇によりゴム事業・化成品事業で増収。
化成品事業は全般的に堅調。値上げに取り組み中。

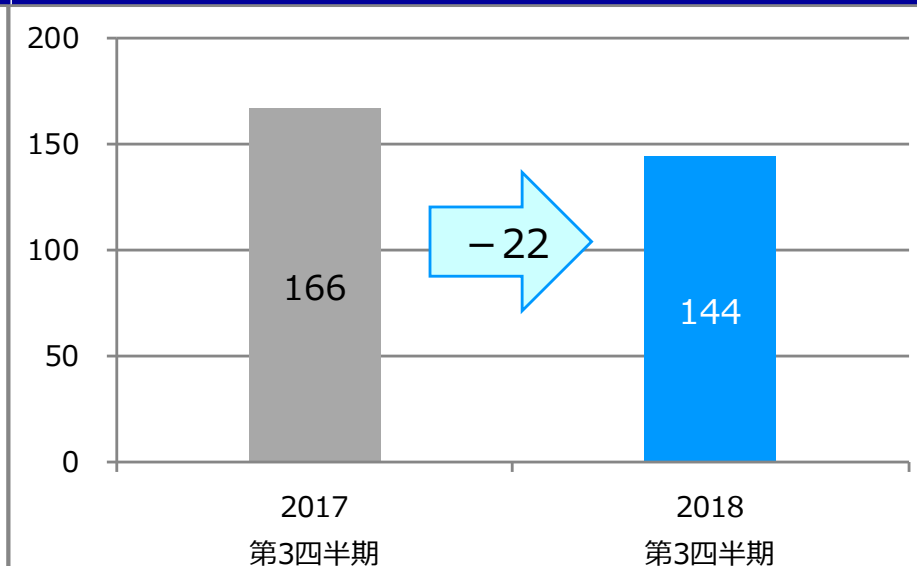
◆ゴム販売数量増減率 -4%の内訳

汎用 -6% → 輸出販売低調
特殊 0%

売上高



営業利益



<売上高>

ゴム	+ 2	: 販売価格上昇、海外子会社堅調
ラテックス	- 2	: 国内樹脂改質・中国向け一時低調
化成品	+ 35	: 原料価格上昇分を価格転嫁
その他・消去	- 2	

<営業利益 前年同期比較>

数量差	+ 10	: 化成品 海外販売数量増
価格差	+ 36	: 販売価格上昇、化成品値上浸透
為替差	- 2	: 111.7円/\$ → 110.8円/\$
原価差	- 60	: 原料価格上昇
販管費差	- 7	: ゴム定検在庫保管料、化成品 数量増に伴う運賃増加

	2018 第3四半期	2017 第3四半期	増減	増減率
売上高	647	661	-15	-2 %
高機能ケミカル	204	179	25	14 %
高機能樹脂	402	441	-39	-9 %
メディカル他	41	42	-1	-3 %
営業利益	130	134	-4	-3 %
営業利益率	20.0%	20.3%	-0.2 pt	

◆高機能材料：減収・減益

合成香料、電池材料は引き続き好調。

COP樹脂は堅調。光学フィルムは顧客の在庫調整等で低調。

◆高機能ケミカル部門の売上増減率 +14%の内訳

化学品 +4%、電子材料 -3%、電池材料 +35%、トナー +4%

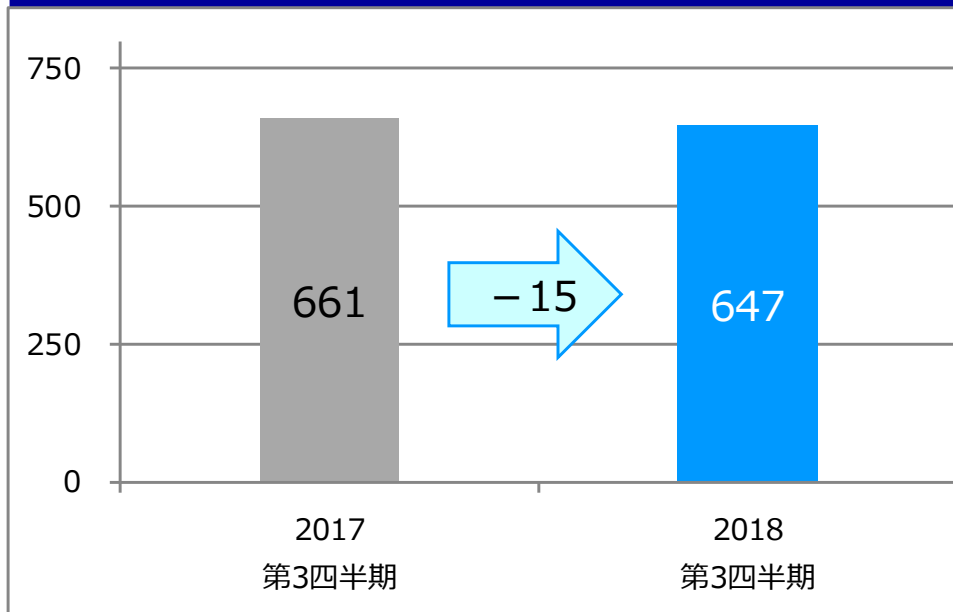
◆高機能樹脂部門の売上増減率 -9%の内訳

COP樹脂 +6%、光学フィルム -13%

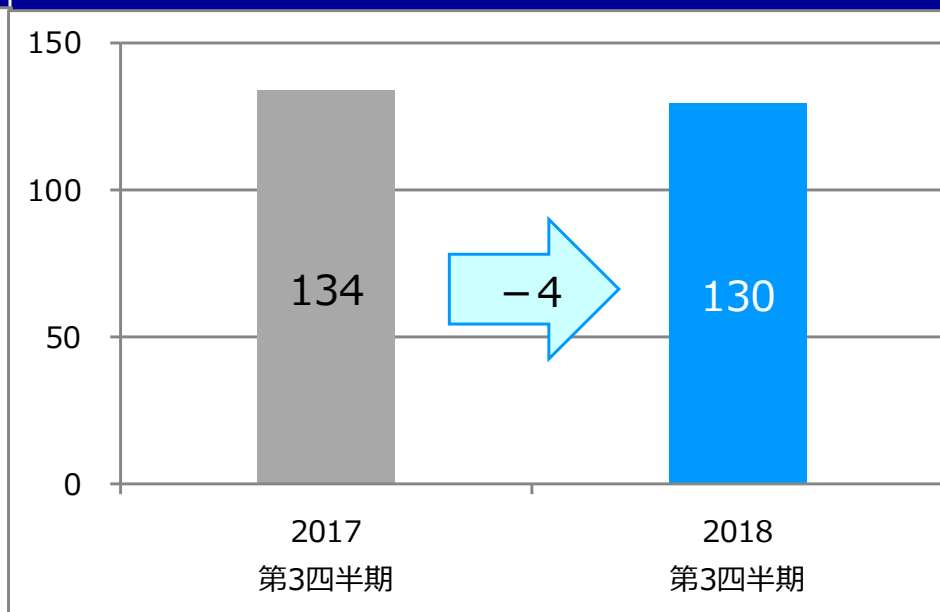
◆光学フィルム販売数量 -3%

◆中小型向け光学フィルム比率（売上高） 2017年Q3 30%→2018年Q3 22%

売上高



営業利益



<売上高>

高機能ケミカル	+25	: 電池材料が堅調
高機能樹脂	-39	: 光学フィルム顧客在庫調整
メディカル他	-1	

<営業利益 前年同期比較>

数量差	+15	: 電池材料、COP樹脂数量増
価格差	-10	: 電池、光学フィルム構成差
為替差	-1	: 111.7円/\$ → 110.8円/\$
原価差	-5	: 原料価格上昇
販管費差	-4	: 電池材料数量増による運賃増

	2018 第3四半期	2017 第3四半期	増減	増減率
売上高	425	405	21	5 %
営業利益	20	25	-6	-23 %
営業利益率	4.6%	6.3%	-1.7 pt	

◆その他 : 増収・減益

商社部門の販売が堅調に推移。RIM事業も拡大。

	資産			負債・純資産			
	18/12末	18/3末	増減	18/12末	18/3末	増減	
流動資産	2,260	2,249	11	流動負債	1,280	1,393	-113
現預金	321	417	-96	買入債務	865	840	25
売掛債権	828	793	34	短期有利子負債	141	266	-125
未収入金	344	362	-19	その他	274	287	-12
棚卸資産	720	639	81	固定負債	364	413	-49
その他	47	37	10	長期有利子負債	120	120	0
固定資産	1,915	2,157	-242	その他	244	293	-49
有形固定資産	1,022	1,156	-134	純資産	2,530	2,599	-69
無形固定資産	31	34	-3	自己資本	2,500	2,572	-72
投資有価証券	771	874	-103	その他	31	28	3
その他	91	94	-3	負債・純資産合計	4,175	4,405	-231
資産合計	4,175	4,405	-231				

資本的支出	92
減価償却費	-139
その他影響	-89
固定資産増減	-136

有利子負債	261	386	-125
自己資本比率 (%)	59.9	58.4	1.5
D/Eレシオ	0.10	0.15	-0.05

◆キャッシュ・フロー

	18Q3	17Q3
営業活動によるキャッシュ・フロー	264	356
投資活動によるキャッシュ・フロー	-152	-127
フリー・キャッシュ・フロー	112	229
財務活動によるキャッシュ・フロー	-216	-73
キャッシュ・フロー	-104	156

◆社債の償還100億円を実施。
有利子負債減少に伴い、自己資本比率、
D/Eレシオが改善。

2018年度業績予想 億円

	2018	2017	増減	増減率
売上高	3,400	3,327	73	2 %
イラストマ-素材	1,990	1,946	44	2 %
高機能材料	850	865	-15	-2 %
その他	580	539	41	8 %
消去	-20	-23	3	
営業利益	340	389	-49	-13 %
営業利益率	10.0%	11.7%	-1.7 pt	
イラストマ-素材	185	222	-37	-17 %
高機能材料	160	167	-7	-4 %
その他	-5	-0	-5	- %
営業外収支	30	20	10	
経常利益	370	409	-39	-10 %
当期純利益	180	131	49	38 %
配当金(円/1株)	19.00	17.00	2.00	12 %
円/ドル	110.0	111.2	-1.2	-1 %
円/ユーロ	130.0	129.3	0.7	1 %
国産ナフサ	49,500	41,800	7,700	18 %
アジア・ブタジイン	1,400	1,218	182	15 %

(円/kl)
(ドル/t)

本資料に掲載されている当社の計画、見直しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる場合があります。

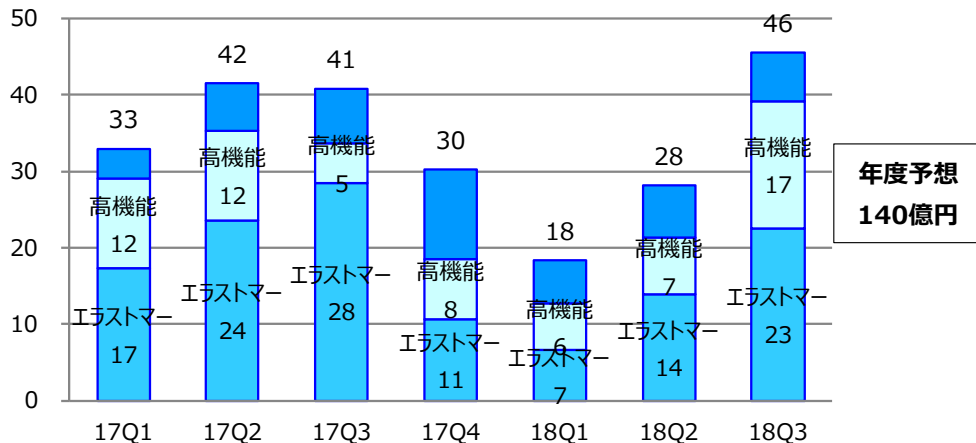
2018年度	2019年4月26日(金) 発表予定
--------	--------------------

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

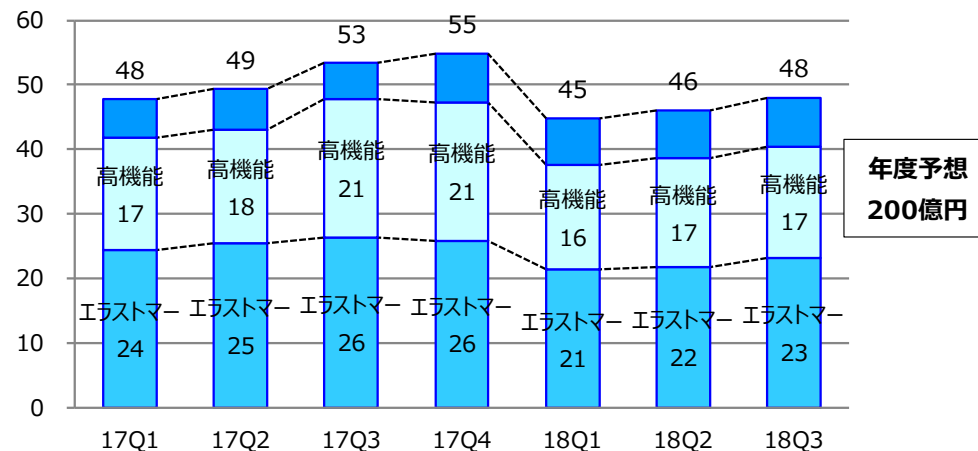
参考資料: 四半期損益推移 億円

	2017				2018			Q2→Q3	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	増減	増減率
販売数量 (千トン)	149	154	156	162	159	149	145	-4	-3%
ゴム	84	92	90	93	91	84	80	-4	-4%
ラテックス	33	32	32	33	31	29	30	1	3%
化成品	32	30	34	36	37	35	34	-2	-5%
売上高	828	839	843	817	837	854	855	2	0%
エラストマー素材	492	492	476	486	509	493	490	-3	-1%
ゴム	345	350	347	339	363	340	339	-1	0%
ラテックス	52	48	45	47	44	51	48	-3	-5%
化成品	88	89	77	93	98	96	95	-1	-1%
その他・消去	6	6	7	7	4	6	7	1	23%
高機能材料	212	219	231	203	195	229	223	-6	-3%
高機能ケミカル	55	58	66	64	66	68	70	1	2%
高機能樹脂	144	146	150	124	116	148	138	-11	-7%
メディカル他	13	15	14	14	14	12	15	3	24%
その他・消去	124	128	137	128	132	132	143	11	8%
営業利益	97	102	108	82	85	95	90	-5	-5%
営業利益率	12%	12%	13%	10%	10%	11%	11%	-1 pt	
エラストマー素材	54	60	52	55	51	44	49	4	10%
高機能材料	41	41	52	33	34	53	42	-11	-21%
その他	1	2	3	-7	-1	-2	-0	2	-

資本的支出 推移



減価償却費 推移



研究開発費 推移

